

### 【今日の説教から】

ヨエルが預言した通り聖霊が人々に注がれ、それはイエス様が正しい方である証拠であり、そしてダビデがわが主と呼び、「彼は黄泉に捨ておかれることがなく、またその肉体が朽ち果てることもない」と神様によってあらかじめ語られていたのが他ならぬイエス様であり、「あなたがたが十字架につけたこのイエスを、神は、主またキリストとしてお立てになったのである」と力強く証したペテロでした。人々は強く心を刺され、「わたしたちは、どうしたらよいのでしょうか」と言いました。

恐ろしき的外れの罪の思いによる神様に対する高ぶり、主であるイエス様を十字架につけた行いから私たちを救うものは何でしょうか。しかしその救いこそがイエス様の十字架でした。贖いの代価が支払われているので、私たちは悔い改めるだけで救われるのです。そして賜物としての聖霊さえ受けることが出来る。この良き知らせを聞いて、「曲がった時代から救われよ」との励ましと、力強い語り掛けに、三千人もの人たちが洗礼を受けて仲間になりました。彼らは教えにひたすら心を注ぎ、教えを守り、交わりをして聖餐を共にし、祈り過ごしました。心の奥底から畏れの心、神様を畏れかしこむ心が生まれ、その思いを持つ者同士も自然と心をつなげて持ち物を分け合い、一つ思いで親密な関係を持続けたのです。それゆえ彼らは好意を得て群れはますます広がっていきました。

皆様おはようございます。

早くも梅雨明けの知らせを聞き、びっくりいたしました。気象庁で1951年に統計を取り始めてから、中国地方では初めての6月の梅雨明けとのこと。戻り梅雨という言葉もあるようですが、さてこれからの長い夏の期間、気候は、気温は、台風はどうなるのでしょうか。

鹿児島県のトカラ列島では、21日以降震度1以上の地震は500回を超えたとのこと。住民の方々は緊張の日々だと思います。7月5日の大災害の予言が不気味な存在感を放っています。それを言った人はパニックを回避するためか、7月5日だけではなくて7月全体に気を付けてほしいとコメントしたとのことでしたが、防災意識を持って、日ごろから備えをしておくことが大切かと思います。

東城では殺人事件が起こったとのこと。小中学校が一日臨時休校になったり、それ以降もなるべく保護者が送り迎えをと、平和な町に不安が広がっています。

色々なことが起こり、今年の半分も今月末をもって終わりを迎え、折り返しの半年が始まるうとしています。

広島県では熱中症アラートが連日のように出ています。どうぞ皆様、こまめの水分補給を行い、お部屋を涼しく保ち、健康管理にご留意ください。

さて、聖書からはペテロの力強い説教の言葉を読み進めております。

ヨエルが預言した通り聖霊が人々に注がれ、それはイエス様が正しい方である証拠であり、そしてダビデがわが主と呼び、「彼は黄泉に捨ておかれることがなく、またその肉体が朽ち果てることもない」と神様によってあらかじめ語られていたのが他ならぬイエス様であり、「あなたがたが十字架につけたこのイエスを、神は、主またキリストとしてお立てになったのである」と力強く証したペテロでした。人々は強く心を刺され、「わたしたちは、どうしたらよいのでしょうか」と言いました。

恐ろしき外的罪の思いによる神様に対する高ぶり、主であるイエス様を十字架につけた行いから私たちを救うものは何でしょうか。しかしその救いこそがイエス様の十字架でした。贖いの代価が支払われているので、私たちは悔い改めるだけで救われるのです。そして賜物としての聖霊さえ受けることが出来る。ペテロの説教に多くの人たちが食い入るように耳を傾けていました。

2:37 人々はこれを聞いて、強く心を刺され、ペテロやほかの使徒たちに、「兄弟たちよ、わたしたちは、どうしたらよいのでしょうか」と言った。

2:38 すると、ペテロが答えた、「悔い改めなさい。そして、あなたがたひとりびとりが罪のゆるしを得るために、イエス・キリストの名によって、バプテスマを受けなさい。そうすれば、あなたがたは聖霊の賜物を受けるであろう。

2:39 この約束は、われらの主なる神の召しにあずかるすべての者、すなわちあなたがたと、あなたがたの子らと、遠くの者一同とに、与えられているものである」。

「この約束は、われらの主なる神の召しにあずかるすべての者、すなわちあなたがたと、あなたがたの子らと、遠くの者一同とに、与えられている」ということ、これは一人の人の悔い改めと救いが神様の召しであり、神様に召された人のためには、神様はその子らへ、そして遠くの地域の遠縁の人たちにまで救いの約束が向かっていくという事は、何という恵み深いことなのでしょう。

2:40 ペテロは、ほかになお多くの言葉であかしをなし、人々に「この曲った時代から救われよ」と言って勧めた。

「この曲がった時代」。曲がった、つむじ曲がりの、ひねくれた、道理をわきまえない、正道を外れた、邪悪な、非を認めない、頑迷で強情なこの時代。強盗、詐欺、殺人などの犯罪や憎しみ、いじめ、戦争のはびこる時代。自分の胸に手を当てて、「わたしたちは、どうしたらよいのでしょうか」などと問いかけることもせず、何者をも恐れずに、自分の欲のままに人をなぎ倒して生きる生き方。罪の意識なく、手段を択ばず、何をしても財を築けば勝

ち組だと、海外に詐欺拠点を作り、末端の者が捕まっても自分だけは逃げるという、人のことはお構いなしの人間。これこそが曲がった時代ということが出来ると思います。ずっと人の世は曲がったままです。しかし人はその曲がった時代から救われなければなりません。人を欺くこの小賢しい知恵が、回り回って自分の足を引っかけるのです。

「この曲った時代から救われよ」と言って勧めた。ペテロはずっと進めの言葉を語り続けました。「この曲った時代から救われよ」、「この曲った時代から救われよ」、「この曲った時代から救われよ」。彼は懇願するように語り続けました。

2 コリント 3:2 わたしたちの推薦状は、あなたがたなのである。それは、わたしたちの心にしるされていて、すべての人に知られ、かつ読まれている。

3:3 そして、あなたがたは自分自身が、わたしたちから送られたキリストの手紙であって、墨によらず生ける神の霊によって書かれ、石の板にではなく人の心の板に書かれたものであることを、はっきりとあらわしている。

5:18 しかし、すべてこれらの事は、神から出ている。神はキリストによって、わたしたちをご自分に和解させ、かつ和解の務をわたしたちに授けて下さった。

5:20 神がわたしたちをとおして勧めをなさるのであるから、わたしたちはキリストの使者なのである。そこで、キリストに代って願う、神の和解を受けなさい。

5:21 神はわたしたちの罪のために、罪を知らないかたを罪とされた。それは、わたしたちが、彼にあって神の義となるためなのである。

新改訳 5:19 すなわち、神は、キリストにあって、この世をご自分と和解させ、違反行為の責めを人々に負わせないで、和解のことばを私たちにゆだねられたのです。

5:20 こういうわけで、私たちはキリストの使節なのです。ちょうど神が私たちを通して懇願しておられるようです。私たちは、キリストに代わって、あなたがたに願います。神の和解を受け入れなさい。

5:21 神は、罪を知らない方を、私たちの代わりに罪とされました。それは、私たちが、この方において、神の義となるためです。

2:41 そこで、彼の勧めの言葉を受けいれた者たちは、バプテスマを受けたが、その日、仲間に加わったものが三千人ほどあった。

2:42 そして一同はひたすら、使徒たちの教を守り、信徒の交わりをなし、共にパンをさき、祈をしていた。

聞いた人たちは自身の心の中に曲がった道があることを認めて悔い改めることを望みまし

た。神を恐れず人を恐れずに、自分のことばかり考えていた自分自身の曲がった心にピリオドを打ちたいと真剣に願ったのです。ペテロの力を込めた懇願の言葉を受け入れて聖霊を受け、新しい人生に船出した人たちは三千人にも及びました。そして救われた人たちは、一同はひたすら、使徒たちの教を守り、信徒の交わりをなし、共にパンをさき、祈をしていました。彼らは心を注ぎだして、献身的に、親密にこれらのことを求めました。それが使徒の教えを愛し、交わりをし、共にイエス様を記念する聖餐のパンをいただき、祈り続けるという事でした。彼らはこういったことに打ち込み、時を過ごすのを喜びとしました。

2:43 みんなの者におその念が生じ、多くの奇跡とするしとが、使徒たちによって、次々に行われた。

それまで畏れの気持ちのなかった人たちに、神様への恐れのお気持ちが生じました。人への恐れを思わなかった人たち、自分こそが大事だと思っていた人々に、人への恐れのお気持ちが生じました。心の奥底から、魂の奥底から彼らは作り替えられ、神様につなが合わされた彼らに、神様はご自身の御力を送られ、多くの奇跡とするしとが、使徒たちによって、次々に行われました。このことは二千年前に限って行われたことではありません。今日でも、主を恐れかしこむ人たちに、神様は御力を現されるのです。

歴代誌下 16:9 【主】はその御目をもって、あまねく全地を見渡し、その心をご自分と全く一つになっている人々に御力をあらわしてくださるのです。(新改訳聖書)

2:44 信者たちはみな一緒にいて、いっさいの物を共有にし、

2:45 資産や持ち物を売っては、必要に応じてみんなの者に分け与えた。

2:46 そして日々心を一つにして、絶えず宮もうでをなし、家ではパンをさき、よろこびと、まごころとをもって、食事を共にし、

2:47 神をさんびし、すべての人に好意を持たれていた。そして主は、救われる者を日々仲間に加えて下さったのである。

悔い改めからの賜物としての聖霊、そしてこの主を畏れる心、そして主の不思議な業に共にあずかる中で、救われた人たちは、心を一つにして過ごす中、神様は彼らに人々の好意を得させてくださり、またも日々救われる仲間を彼らに増し加えてくださいました。(46節の「心を一つにして」ということばと42節の「ひたすら…」という言葉は同じギリシャ語です。両方とも自分を捧げて献身的に何かをし続けるとか、親しい、親密な関係を持ち続けるという意味です。)

46節の「まごころとをもって」という言葉も、美しい言葉です。これは簡単、平易、単純、質素、簡素、率直さ、素朴さ、純真さ、謙遜さ、謙虚さなどの意味があります。これは、曲がった、つむじ曲がりの、ひねくれた、道理をわきまえない、正道を外れた、邪悪な、非を認めない、頑迷で強情なこの曲がった時代の正反対を行くものです。しかしこの真心の中にこそ、並外れた喜びがあるのです。46節の中にあります「よろこび」とは、そういう尋常でない喜びをそすのです。

みんなで分け合うときに自分が損をすとか、どうして自分の分を分けなければならないのかとか、どうしてあの人のために自分が損をしなければならないとか、あの人以上の人よりたくさん撮っているのではないかという心は、皆心を一つにする中で消えていったのです。兄弟のように、姉妹のように、真実の家族のように、心から、損だなんて思わないで家族のために尽くすことのできる喜びを伴った愛の関係がそこにはあったのです。これこそが「曲がった時代」の正反対を表す状態なのでした。こういう新鮮なる魅力の中で、彼らの神様を畏れる心に心打たれ、この美しい間柄の中に自分も身を置きたいと願う人たちが個日々起こされたのです。

ヨハネ 13:34 わたしは、新しいいましめをあなたがたに与える、互に愛し合いなさい。わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたも互に愛し合いなさい。

13:35 互に愛し合うならば、それによって、あなたがたがわたしの弟子であることを、すべての者が認めるであろう」。

私たちは主の愛の中で子供のようにシンプルに、ただ神様の教えを愛し実行する中にあって素晴らしい親愛の交わりの中、教えの中、私たちの輝かしい人生を実現することが出来るのです。

◇祈禱；天の父なる神様、今日の礼拝を感謝します。神様が主として立てたイエス様に手をかけ殺し、「わたしたちはどうしたらよいのですか」と絶望の叫びをあげる他なかった人間に、悔い改めるだけで救いがもたらされるのは、イエス様がご自分から十字架にかかって私たちのた

めに代価を支払ってくださったゆえでした。聖霊の賜物にも感謝いたします。感謝と畏れをもってこの教えの道を進ませてください。その畏れのゆえに私たちの心を一つにし、共に進ませてください。どうぞあらゆる苦しめる方々を神様の救いと平安の中にお導き下さい。私たちの家族と、地域の方々を祝福して下さい。私たちをお用い下さい。主イエス様の御名によって祈ります。アーメン